



Slicer

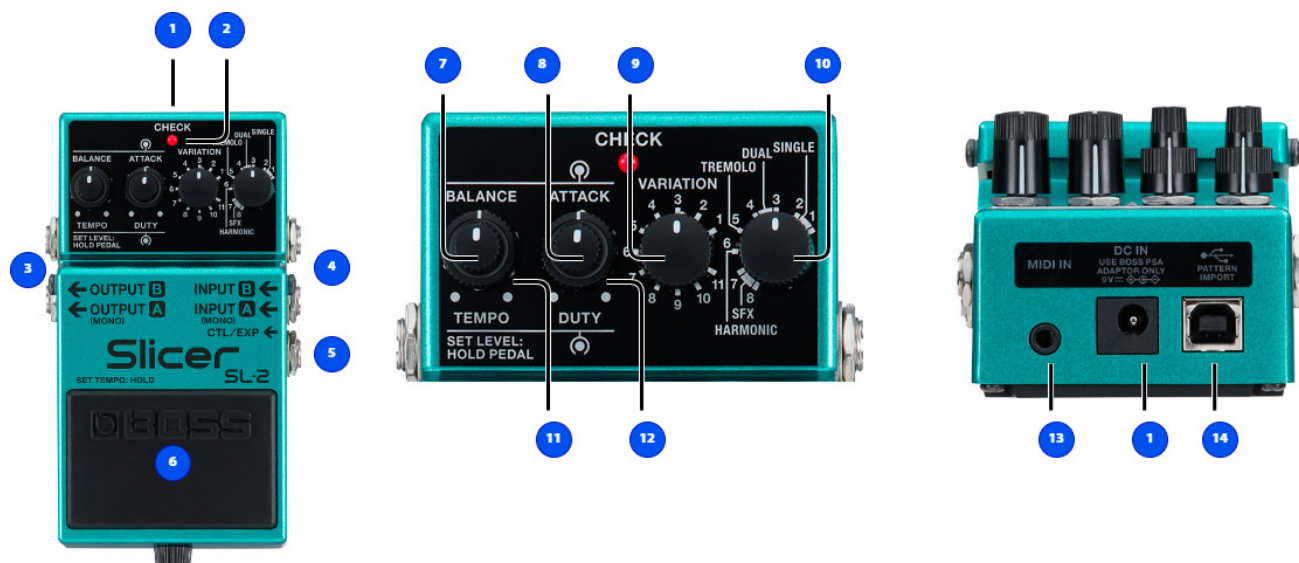
SL-2

取扱説明書

目次

各部の名称とはたらき	3
外部ペダルの接続について	6
エフェクト音のさまざまな出力のしかたを選ぶ (OUTPUT MODE)	7
フットスイッチに機能を割り当てる (CTL FUNCTION)	9
エクスプレッション・ペダルでつまみをコントロールする (EXP FUNCTION)	11
エクスプレッション・ペダルで出力レベルをコントロールする	13
外部 MIDI 機器から本機をコントロールする	14
受信 MIDI チャンネルを設定する	15
工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)	16
電池の交換のしかた	17
主な仕様	18
使用上のご注意	19
知的財産権について	20

各部の名称とはたらき



名称	機能
1 DC IN 端子	AC アダプター（別売：PSA-100S）を接続する端子です。 * AC アダプターは、必ず指定のもの（別売：PSA-100S）を、AC100V の電源で使用してください。 * 電池が入っている状態で AC アダプターを接続すると、電源は AC アダプター側から供給されます。
2 CHECK（チェック）インジケーター	エフェクト・オン／オフの表示、テンポ、バッテリー・チェックの機能を兼ね備えたインジケーターです。 エフェクト・オン時は赤、エフェクト・オフ時は緑で、テンポの拍に合わせて点滅します。 * インジケーターが暗くなったり点灯しなくなったりしたときは、電池が消耗していますので、新しい電池と交換してください。交換方法については、「電池の交換のしかた(P.17)」をご覧ください。
3 OUTPUT A（MONO）、OUTPUT B 端子	アンプやモニター・スピーカーに接続します。 モノで使用するときは OUTPUT A（MONO）端子のみを使用してください。 ステレオで使用するときは OUTPUT A（MONO）端子と OUTPUT B 端子を使用してください。 OUTPUT A（MONO）端子と OUTPUT B 端子の両方に接続すると、OUTPUT MODE の設定に応じた効果が得られます。詳しくは「エフェクト音のさまざまな出力のしかたを選ぶ（OUTPUT MODE）（P.7）」をご覧ください。
4 INPUT A（MONO）、INPUT B 端子	ギター、ベースやエフェクターを接続します。

		モノで使用するときは INPUT A（MONO）端子のみを使用してください。ステレオ出力のエフェクターを接続するときは INPUT A（MONO）端子と INPUT B 端子を使用してください。										
		* INPUT A（MONO）端子は、電源スイッチも兼ねています。INPUT A（MONO）端子にプラグを差し込むと電源がオンになります。										
5	CTL/EXP 端子	● CTL 端子として使う フットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）を接続して、タップ・テンポやモーメントリリー・スイッチ機能をコントロールすることができます。 フットスイッチの設定については「フットスイッチに機能を割り当てる（CTL FUNCTION）（P.9）」をご覧ください。 ● EXP 端子として使う エクスプレッション・ペダル（別売：EV-30、Roland EV-5 など）を接続して、エクスプレッション・ペダルのつま先側とかかと側のエフェクト設定を連続的に変化させることができます。 機能の設定については「エクスプレッション・ペダルでつまみをコントロールする（EXP FUNCTION）（P.11）」をご覧ください。										
6	ペダル・スイッチ	● オン／オフ・スイッチ エフェクトのオン／オフを切り替えます。 長押しすると、タップ・テンポを使うことができます。このときは、CHECK インジケータが赤／緑の交互点灯になります。 ● タップ・テンポ ペダル・スイッチを踏むタイミングで、スライス・パターンのテンポを設定することができます。 外部機器から MIDI クロックを受信しているときは、SL-2 でテンポを設定することはできません（外部機器のテンポに同期します）。 ペダル・スイッチを 2 秒以上踏んで、テンポ・モードに切り替えます（CHECK インジケータ赤／緑の交互点灯）。 曲のテンポに合わせて、4 分音符の間隔でペダル・スイッチを踏みます。 [TEMPO] つまみで、エフェクト音のレベルを調節することができます。 ペダル・スイッチを 2 秒以上踏み、設定を終了します。										
7	[BALANCE] つまみ	エフェクト音とダイレクト音のバランスを調節します。 右に回し切るとエフェクト音だけが出力され、左に回し切るとダイレクト音のみが出力されます。										
8	[ATTACK] つまみ	スライス・パターンのアタック波形の音量を調節します。										
9	[VARIATION] つまみ	パターンのバリエーションを選びます。										
10	タイプつまみ	スライサーの種類（タイプ）を切り替えます。 <table><tr><td>SINGLE（1、2）</td><td>スライサー・エフェクトを 1 つ使ったタイプです。</td></tr><tr><td>DUAL（3、4）</td><td>スライサー・エフェクトを 2 つ使ったタイプです。</td></tr><tr><td>TREMOLO（5）</td><td>トレモロのパターンです。</td></tr><tr><td>HARMONIC（6）</td><td>モジュレーションをかけたスライス・パターンです。</td></tr><tr><td>SFX（7、8）</td><td>さまざまなエフェクトをかけたスライス・パターンです。</td></tr></table>	SINGLE（1、2）	スライサー・エフェクトを 1 つ使ったタイプです。	DUAL（3、4）	スライサー・エフェクトを 2 つ使ったタイプです。	TREMOLO（5）	トレモロのパターンです。	HARMONIC（6）	モジュレーションをかけたスライス・パターンです。	SFX（7、8）	さまざまなエフェクトをかけたスライス・パターンです。
SINGLE（1、2）	スライサー・エフェクトを 1 つ使ったタイプです。											
DUAL（3、4）	スライサー・エフェクトを 2 つ使ったタイプです。											
TREMOLO（5）	トレモロのパターンです。											
HARMONIC（6）	モジュレーションをかけたスライス・パターンです。											
SFX（7、8）	さまざまなエフェクトをかけたスライス・パターンです。											

11	[TEMPO] つまみ	テンポを設定します (BPM 40~300)。 * 外部機器から MIDI クロックを受信しているときは、SL-2 でテンポを設定することはできません (外部機器のテンポに同期します)。
12	[DUTY] つまみ	スライス・パターンの発音の比率 (音の長さ) を調節します。 左に回すほど発音の長さは短くなります (L)。右に回すほど発音の長さは長くなります (R)。
13	MIDI IN 端子	外部機器からのタイミング・クロック、スタート、コンティニュー、ストップ、コントロール・チェンジ・メッセージを受信します。 ● TRS/MIDI コネクティング・ケーブル (別売: BMIDI シリーズ、BCC シリーズ) で、外部 MIDI 機器に接続します。 ● オーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。
14	USB 端子	SL-2 とパソコンを USB ケーブルで接続します。専用アプリ「BOSS TONE STUDIO for SL-2」を使うことで、スライス・パターンを入れ替えることができます。 詳しくは『BOSS TONE STUDIO for SL-2 の使いかた』をご覧ください。

* 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

* 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

電源を入れる／切る

正しく接続したら、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。

* 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

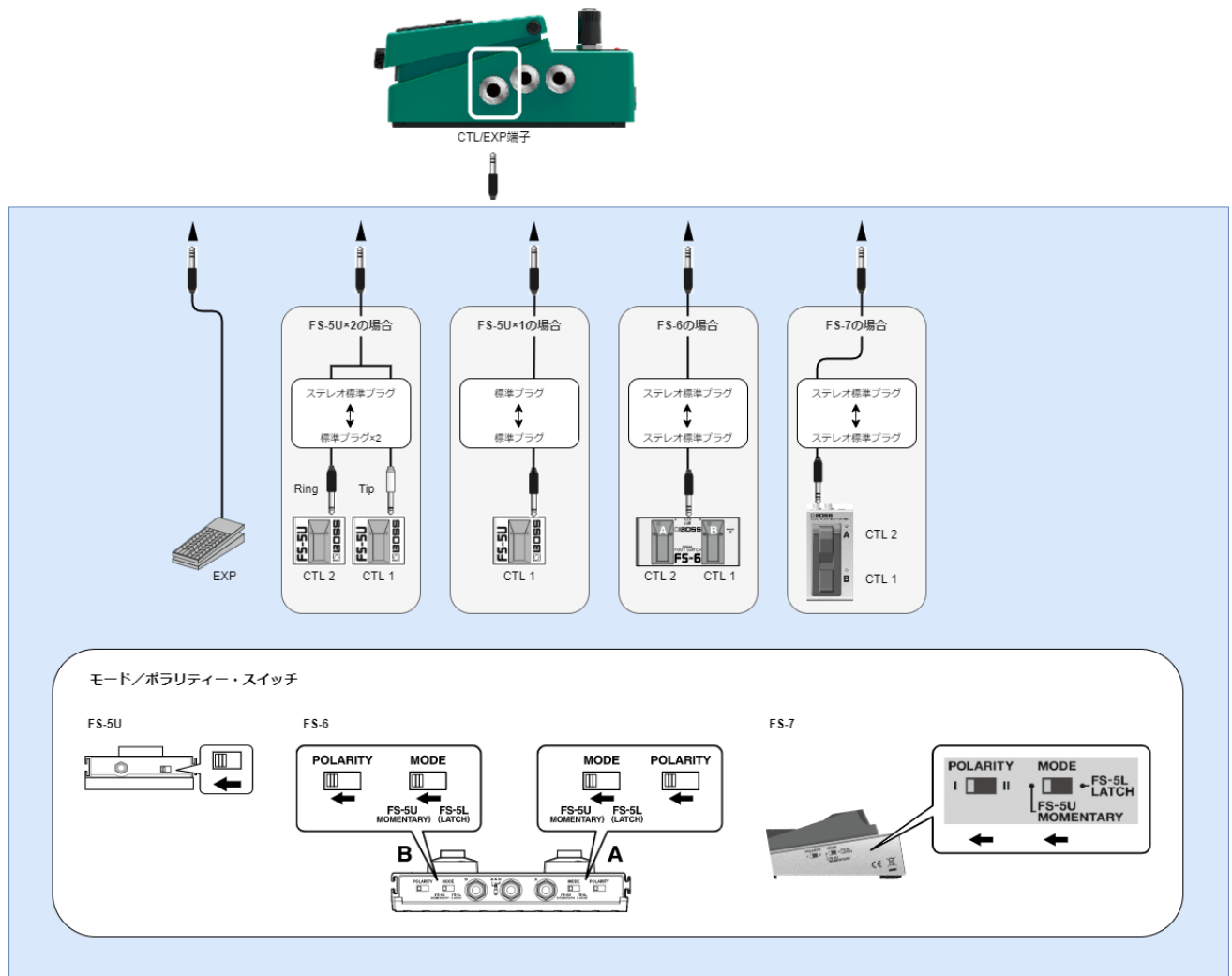
電源を入れるとき

アンプなどの電源を最後に入れてください。

電源を切るとき

アンプなどの電源を最初に切ってください。

外部ペダルの接続について



エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

エフェクト音のさまざまな出力のしかたを選ぶ (OUTPUT MODE)

エフェクト音の出力のしかたを選びます。

1. タイプつまみを「SFX (8)」に合わせます。
2. タイプつまみ以外はすべて右に回し切ります。



3. ペダル・スイッチを押しながら、電源を入れます (INPUT A (MONO) 端子にプラグを差し込みます)。

CHECK インジケーターがオレンジ点滅します。

4. [VARIATION] つまみで、エフェクト音の出力のしかたを選びます。

[VARIATION] つまみ		説明
1	FIXED	OUTPUT A (MONO) 、OUTPUT B 端子から同じ信号を出力します。 エフェクト・オフのときは、OUTPUT A (MONO) 、OUTPUT B 端子からはダイレクト音が出力されます。
2	EFX/DIR	OUTPUT A (MONO) 端子からはエフェクト音、OUTPUT B 端子からはダイレクト音を出力します。 エフェクト・オフのときは、OUTPUT A (MONO) 端子からの出力はありません。OUTPUT B 端子からはダイレクト音が出力されます。
3 *	RANDOM	左右中央からランダムに出力します。
4 *	PING-PONG	左右から交互に出力します。
5 *	AUTO	音の定位が左から右へ、または右から左へ移動します。
6 *	3D CROSS	音の定位が前後左右へ移動します。
7 *	3D ROTATION	3 次元的な回転感が得られます。

* [VARIATION] つまみを 3～7 に設定して OUTPUT A (MONO) と OUTPUT B 端子を使うと、ステレオの効果を得ることができます。

メモ

[VARIATION] つまみを回すだけで、設定は自動的に保存されます。

設定中は、OUTPUT A (MONO) 、OUTPUT B 端子からエフェクト音を確認することができます。

ただし出力される音は、前回本機の電源を切った直前のエフェクト設定が利用されます。

効果が確認しにくいエフェクト音が聞こえる場合は、シンプルなエフェクト設定 (タイプつまみ = 「SINGLE (1)」 、 [VARIATION] つまみ = 「1」 など) で電源を切り、手順 1 からもう一度試してください。

5. ペダル・スイッチを押します。

CHECK インジケーターが高速で赤点滅します。

2～3 秒ほどで、演奏ができる通常動作に復帰します。

フットスイッチに機能を割り当てる (CTL FUNCTION)

本機に接続したフットスイッチに機能を割り当てます。

1. タイプつまみを「SFX (7)」に合わせます。
2. タイプつまみ以外はすべて右に回し切ります。



3. 本機のペダル・スイッチを押しながら、電源を入れます (INPUT A (MONO) 端子にプラグを差し込みます)。

CHECK インジケーターがオレンジ点滅します。

4. [VARIATION] つまみで、フットスイッチに割り当てる機能を選びます。

[VARIATION] つまみ		説明
1	MOMENTARY/TAP	外部にフットスイッチを 2 つ接続する場合の設定です。 CTL 1 のフットスイッチにはタップ・テンポ機能、CTL 2 のフットスイッチにはモーメンタリー・スイッチ (*) 機能が割り当てられます。
2	TAP TEMPO	タップ・テンポ機能を割り当てます。
3	MOMENTARY	エフェクトをオン/オフするモーメンタリー・スイッチ (*) 機能を割り当てます。

* 「モーメンタリー・スイッチ」とは、フットスイッチを押しているときのみエフェクトがオンになるスイッチです。

メモ

設定中は、OUTPUT A (MONO) 、OUTPUT B 端子からエフェクト音を確認することができます。

ただし出力される音は、前回本機の電源を切った直前のエフェクト設定が利用されます。

効果が確認しにくいエフェクト音が聞こえる場合は、シンプルなエフェクト設定 (タイプつまみ = 「SINGLE

(1)」、[VARIATION] つまみ = 「1」などで電源を切り、手順 1 からもう一度操作してください。

5. 本機のペダル・スイッチを押します。

設定が記憶されます。

CHECK インジケーターが高速で赤点滅します。

2～3 秒ほどで、演奏ができる通常動作に復帰します。

エクスプレッション・ペダルでつまみをコントロールする (EXP FUNCTION)

SL-2 のつまみを外部に接続したエクスプレッション・ペダルを使ってコントロールすることができます。

エクスプレッション・ペダルでコントロールするつまみ (パラメーター) を、以下の設定で選びます。

1. タイプつまみを「HARMONIC (6)」に合わせます。
2. タイプつまみ以外はすべて右に回し切ります。



3. ペダル・スイッチを押しながら、電源を入れます (INPUT A (MONO) 端子にプラグを差し込みます)。

CHECK インジケーターがオレンジ点滅します。

4. [VARIATION] つまみで、エクスプレッション・ペダルに割り当てるつまみ (パラメーター) を選びます。

[VARIATION] つまみ	説明
1	エクスプレッション・ペダルで [DUTY] つまみをコントロールします。
2	エクスプレッション・ペダルで [ATTACK] つまみをコントロールします。
3	エクスプレッション・ペダルで [TEMPO] つまみをコントロールします。
4	エクスプレッション・ペダルで [BALANCE] つまみをコントロールします。

5. エクスプレッション・ペダルを最小にしたときの値 (設定) を、つまみで設定します。
6. ペダル・スイッチを押します。

エクスプレッション・ペダルを最小にしたときの値 (つまみの位置) が記憶されます。

7. エクスプレッション・ペダルを最大にしたときの値 (設定) を、つまみで設定します。
8. ペダル・スイッチを押します。

エクスプレッション・ペダルを最大にしたときの値 (つまみの位置) が記憶されます。

CHECK インジケーターが高速で赤点滅します。

2～3 秒ほどで、演奏ができる通常動作に復帰します。

エクスプレッション・ペダルで出力レベルをコントロールする

OUTPUT A (MONO) 端子から出力されるエフェクト音のレベルを、エクスプレッション・ペダルを使ってコントロールすることができます。

1. タイプつまみを「TREMLO (5)」に合わせます。
2. タイプつまみ以外はすべて右に回し切ります。



3. ペダル・スイッチを押しながら、電源を入れます (INPUT A (MONO) 端子にプラグを差し込みます)。

CHECK インジケータがオレンジ点滅します。

4. エクスプレッション・ペダルを最小にしたときのレベルを、[TEMPO] つまみで設定します。
5. 本機のペダル・スイッチを押します。

エクスプレッション・ペダルを最小にしたときの出力レベルが記憶されます。

6. エクスプレッション・ペダルを最大にしたときのレベルを、[TEMPO] つまみで設定します。
7. 本機のペダル・スイッチを押します。

エクスプレッション・ペダルを最大にしたときの出力レベルが記憶されます。

CHECK インジケータが高速で赤点滅します。

2～3 秒ほどで、演奏ができる通常動作に復帰します。

外部 MIDI 機器から本機をコントロールする

外部機器から SL-2 に MIDI メッセージを送り、SL-2 をコントロールすることができます。

また、SL-2 と外部機器のテンポを合わせることができるので、SL-2 のスライス・パターンと外部機器との同期演奏をすることができます。

コントロール・チェンジ・メッセージを使った SL-2 のコントロール

コントロール番号	機能	説明
CC#16	EXP	エフェクト音の出力レベルをコントロールします。 外部に接続したエクスプレッション・ペダルの操作と同じ効果が得られます。
CC#80	EFFECTS ON/OFF	SL-2 のエフェクトをオン／オフします。
CC#81	TAP TEMPO	コントロール・チェンジ・メッセージを受信する間隔で、SL-2 のテンポを設定します。

MIDI クロックによる外部 MIDI 機器との同期

タイミング・クロック (F8H)、スタート (FAH)、コンティニュー (FBH)、ストップ (FCH) を受信すると、SL-2 は外部機器のテンポに同期します。

- MIDI クロックによる同期中は、以下の操作での SL-2 のテンポ設定はできません。
 - SL-2 のペダル・スイッチや、SL-2 にフットスイッチを接続してのテンポ設定 (タップ・テンポ)
 - コントロール・チェンジ・メッセージ (CC#81) を受信してのテンポ設定
- MIDI クロックによるテンポは、本体に記憶されません。
- MIDI クロックは、MIDI のシステム共通情報に属します (システム・リアルタイム・メッセージ)。したがって、MIDI チャンネルの設定はありません。
- スタート (FAH) を受信すると、スライス・パターンを先頭から出力します。

受信 MIDI チャンネルを設定する

MIDI 機器から MIDI 情報を受信するためのチャンネルを設定します。

1. タイプつまみを「DUAL (4)」に合わせます。
2. タイプつまみ以外はすべて右に回し切ります。



3. ペダル・スイッチを押しながら、電源を入れます（INPUT A (MONO) 端子にプラグを差し込みます）。

CHECK インジケーターが赤点灯します。

4. [VARIATION] つまみで受信チャンネルを選びます。

[VARIATION] つまみ		説明
1	1 ch	
2	2 ch	
3	3 ch	
4	4 ch	
5	5 ch	
6	6 ch	
7	7 ch	
8	8 ch	
9	9 ch	
10	10 ch	
11	全チャンネル	

5. ペダル・スイッチを押します。

設定が記憶されます。

CHECK インジケーターが高速で緑点滅します。

2～3 秒ほどで、演奏ができる通常動作に復帰します。

工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

SL-2 の設定を工場出荷時の状態に戻します。

1. タイプつまみを「DUAL（3）」に合わせます。
2. タイプつまみ以外はすべて右に回し切ります。



3. ペダル・スイッチを押しながら、電源を入れます（INPUT A（MONO）端子にプラグを差し込みます）。

CHECK インジケーターがオレンジ点滅します。

4. ペダル・スイッチを押します。

CHECK インジケーターが高速でオレンジ点滅します。

CHECK インジケーターがオレンジ点灯に変わったら、SL-2 が工場出荷時の設定に戻ります。

5. 電源を切ります（INPUT A（MONO）端子からプラグを抜きます）。

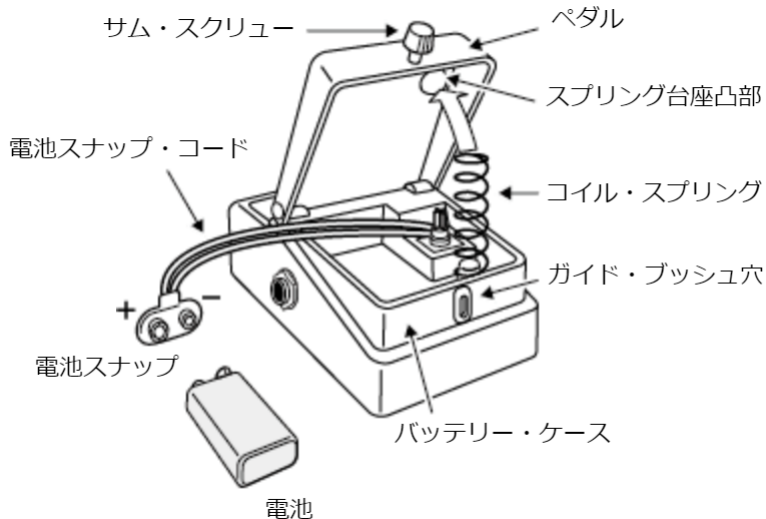
SL-2 の設定は、以下のように設定されます。

パラメーター	設定値
OUTPUT MODE →エフェクト音のさまざまな出力のしかたを選ぶ（OUTPUT MODE）（P.7）	FIXED（1）
CTL FUNCTION →フットスイッチに機能を割り当てる（CTL FUNCTION）（P.9）	MOMENTARY/TAP TEMPO（1）
EXP FUNCTION →エクスプレッション・ペダルでつまみをコントロールする（EXP FUNCTION）（P.11）	TEMPO（3）
MIDI CH →受信 MIDI チャンネルを設定する（P.15）	全チャンネル（11）

電池の交換のしかた

電池駆動のときは、電池が消耗してくると CHECK インジケーターが暗くなります。早めに電池を交換してください。

* 電池のセットや交換は、誤動作や故障を防ぐため、他の機器と接続する前にしてください。



1. ペダルを押さえながらサム・スクリューをゆるめて、ペダルを上を開きます。

サム・スクリューを完全に取りはずさなくても、ペダルが開けられます。

2. バッテリー・ケースから電池を取り出し、電池スナップをはずします。

3. 新しい電池を電池スナップに接続し、バッテリー・ケースに入れます。

電池の極性（+／-）を間違えないようにご注意ください。

4. コイル・スプリングをペダル裏のスプリング台座凸部に入れ、ペダルを閉じます。

ペダルやコイル・スプリング、バッテリー・ケースなどに、電池スナップ・コードをはさまないようにご注意ください。

5. サム・スクリューをガイド・ブッシュ穴に入れ、確実に締めてください。

電池について

- 電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。
- 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。「安全上のご注意」と「使用上のご注意」（『安全上のご注意』チラシ）に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。
- この機器には、工場出荷時に電池がセットされています。この電池は検査用のため、寿命が短い場合があります。
- 電池の消耗が著しいと音が歪みやすくなる場合がありますが故障ではありません。このようなときは電池を交換するか、別売の AC アダプターを使用してください。

主な仕様

規定入力レベル	INPUT A (MONO) 、 INPUT B 端子	-20dBu
最大入力レベル	INPUT A (MONO) 、 INPUT B 端子	+7dBu
入力インピーダンス	INPUT A (MONO) 、 INPUT B 端子	1MΩ
規定出力レベル	OUTPUT A (MONO) 、 OUTPUT B 端子	-20dBu
最大出力レベル	OUTPUT A (MONO) 、 OUTPUT B 端子	+7dBu
出カインピーダンス	OUTPUT A (MONO) 、 OUTPUT B 端子	1kΩ
推奨負荷インピーダンス	OUTPUT A (MONO) 、 OUTPUT B 端子	10kΩ 以上
バイパス	バッファード・バイパス	
インジケーター	CHECK インジケーター (テンポ、バッテリー・チェック兼用)	
接続端子	INPUT A (MONO) 、 INPUT B 端子	標準タイプ
	OUTPUT A (MONO) 、 OUTPUT B 端子	標準タイプ
	CTL/EXP 端子	TRS 標準タイプ
	MIDI IN 端子	ステレオ・ミニ・タイプ
	PATTERN IMPORT 端子	USB B
	DC IN 端子	
電源	アルカリ電池 (9V 形、市販品)	
	AC アダプター (別売)	
消費電流	95mA	
連続使用時の電池の寿命	アルカリ電池：約 2.5 時間	
	* 使用状態によって異なります。	
外形寸法	73 (幅) ×129 (奥行) ×59 (高さ) mm	
質量 (乾電池を含む)	450g	
付属品	チラシ (安全上のご注意、使用上のご注意、お問い合わせの窓口)	
	アルカリ電池 (9V 形、本体に接続済み)	
	保証書	
別売品	AC アダプター：PSA-100S	
	フットスイッチ：FS-5U	
	デュアル・フットスイッチ：FS-6、FS-7	
	エクスプレッション・ペダル：FV-500H、FV-500L、EV-30、Roland EV-5	
	TRS/MIDI コネクティング・ケーブル：BMIDI シリーズ、BCC シリーズ	

* 0dBu=0.775Vrms

* 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

使用上のご注意

- 電池が入っていても、電源を入れたまま電源コードをコンセントから抜いたり、AC アダプターを本体から抜いたりすると、電源が切れます。電源コードや AC アダプターは、必ず電源を切ってから抜いてください。
- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップするか、メモしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。

知的財産権について

- 本製品は、T-Engine フォーラム (www.tron.org) の T-License 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。
- 本製品には、第三者のオープンソースソフトウェアが含まれています。

Copyright © 2009-2020 ARM Limited. All rights reserved.

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

- Roland、BOSS、SLICER は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

SL-2

取扱説明書

01

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1

©2022 Roland Corporation